

ドイツ・オーストリア建設視察！

～現地で見て・感じた
建設と暮らしの価値観～



ミュンヘン新市庁舎



ゼロカーボンの
トロリーバス

オーストリア
ホーエンザルツブルグ城



映画「サウンド・オブ・ミュージック」の舞台へ



ノイシュヴァンシュタイン城



世界遺産のヴィース巡礼教会



1班は霧がかって幻想的に



天井もおしゃれな
地下ショッピングモール



モーツァルトの生家



マリエン広場

なぜかヨーロッパは 全てトンボクレーン

建設資材も運びますが
たまには飲料水も

中は冷暖房完備の快適空間のキャビン

重量物は
ダブルマストの
エレベーターで荷揚げ

屋上工事も
必要なところだけ
足場を組んで
エレベーターで荷揚げ

飲料水も運ぶ

荷物も運ぶ

ヨーロッパでは多くの現場が
「自己責任」にて自分の命を
守っているみたいです

協力して下さった
東武トップツアーズさん

今回お世話になった
フィンランド航空

バイエルン名物の
白ソーセージ

ホフブロイハウスにて

1Lジョッキで乾杯!!

超大型プレッツェル

いざ、オーストリアへ

各現場で活躍する
カラフルなトイレ

工事中とは
まったくわからない
デザインメッシュシート

2 班カメラマン

ザルツブルク柄の
看板牛

さすが次世代足場発祥の地
効率を考え今後はアルミニウムにかわるかも?

分別ゴミも色分け多く完璧



現場作業員さんは、常に笑顔で
がんばってくれています。



ほぼ石畳だからお掃除も
補修も大変...



凄く威力は有るのに見た目は
カワイイ！通行止め用移動式バリケード

歴史を守ること
効率を上げることの
バランスを取るのは
大変そうです。



＜編集後記＞ コロナ禍もあり、前回のイタリア研修から実に11年ぶりに、ドイツとオーストリアへ研修旅行に出かけました。ヨーロッパも日本と同様に、高齢化や建物の老朽化が進んでおり、インフラ整備は待ったなしの状況です。一方で、効率化を常に意識し、仮設や機械分野では最先端を走っており、観光大国らしく景観に配慮した機械も数多く見られました。また、市内にはカーボンニュートラルを意識したトロリーバスや路面電車が走り、環境への取り組みも真剣に進められていました。



Matsumoto
松本鋼機株式会社

■神戸営業部 (078) 651-7321
■大阪営業部 (06) 6398-0310
■京都支店 (075) 611-7533
■北近畿支店 (0773) 27-4809
■兵庫南支店 (078) 597-6988

■姫路営業所 (079) 293-3487
■淡路営業所 (0799) 45-1109
■豊岡営業所 (0796) 22-7261
■仕入部 (06) 6398-0320
■新大阪総合センター (06) 6398-0315

■明石リース (079) 492-0140
■技術部 (06) 6398-0320

〒652-0812 神戸市兵庫区湊町1丁目88番地の1 078-651-7327 (代)

情報満載のホームページをご覧ください！ <https://www.matsu-ko.co.jp/>